

2008年12月18日

報道各位

三菱地所株式会社

(仮称) 丸の内1-4計画／計画概要について

千代田区丸の内一丁目において、三菱地所株式会社、住友信託銀行株式会社、三菱UFJ信託銀行株式会社、株式会社三菱東京UFJ銀行の4者共同で検討を進めて参りました「(仮称)丸の内1-4計画」(東銀ビルヂング並びに住友信託銀行東京ビル、三菱UFJ信託銀行東京ビルの敷地における街区一体の建替再開発事業)について、この度、プロジェクトの概要が概ね纏まりましたので、お知らせいたします。

当社は、丸の内再構築第2ステージの第2弾プロジェクトである本事業を通じ、丸の内再構築の更なる「拡がり」と「深まり」を目指します。

【計画概要】

所在地	東京都千代田区丸の内一丁目4番2号他
主要用途	事務所・金融店舗・店舗・駐車場等
敷地面積	8,033.94㎡
延床面積	約141,000㎡
階数	地下4階、地上27階、塔屋2階
高さ	約150m
設計監理	株式会社三菱地所設計
予定工期	2008年12月解体着工～2011年秋新築工事竣工

【プロジェクトの特徴】

1. 多様な都市機能の整備

- ・ 「丸の内」と「大手町」の結節点に立地する本計画において、金融の中核機能が集積している当エリアにふさわしい高度で高質な国際的業務機能を整備します。
- ・ 大名小路に面した区画には、住友信託銀行並びに三菱UFJフィナンシャル・グループの店舗・営業拠点等を配置する計画とします。
- ・ 丸の内エリアで最大級のフロア面積となる、1フロア当たり3,000㎡を超える大型オフィス空間を整備します。
- ・ 地下1階と1階部分を中心に商業店舗を配置し、丸の内仲通りの街並みの連続性と新たな賑わいを創出します。

2. ネットワーク空間の形成

- ・ 隣接する日本工業倶楽部会館・三菱UFJ信託銀行本店ビル敷地と地上・地下で接続す

ることにより、東京駅から新丸ビルを経由し大手町駅へとつながる新しい歩行者ネットワークを構築し、賑わいと回遊性を創出します。

- ・ 地下鉄5路線が乗り入れる「大手町駅」に隣接し丸の内仲通りの起点に位置する本計画地において、大手町駅との地上・地下結節空間を整備します。

3. 環境共生への積極的な取り組み

- ・ 本計画建物では、東京都の定める建築物環境計画書制度の基準を上回る性能を確保すると共に、CO2 排出量削減に積極的取り組み、環境に配慮した最先端ビルを目指します。
- ・ 環境に配慮した外装や高効率設備の採用により、環境性能評価である CASBEE - S クラスの取得を予定しています。
- ・ 仲通りの街路樹の連続性を創出し、低層部において緑化に取り組むなど、緑豊かな計画としています。

【開発手法】

- ・ 隣接する日本工業倶楽部会館・三菱UFJ信託銀行本店ビル敷地に係る特定街区を本計画地に拡大して指定を受けることにより、一体街区としての整備を行います。
- ・ 特例容積率適用地区制度の活用により、高度利用を図る計画としています。

以上

□ 外観パースイメージ（永代通りより）

